

議案第14号

令和8年度所沢市水道事業会計予算

(総 則)

第 1 条 令和8年度所沢市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第 2 条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 給水戸数	173,940 戸
(2) 年間総配水量	34,667,000 m ³
(3) 一日平均配水量	94,970 m ³
(4) 主要な建設改良事業	
水道管布設及び更新事業	3,116,553 千円
施設整備改良事業	568,974 千円

(収益的収入及び支出)

第 3 条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第 1 款 水道事業収益		7,832,388 千円
第 1 項 営業収益		7,274,981 千円
第 2 項 営業外収益		557,407 千円
	支	出
第 1 款 水道事業費		7,184,700 千円
第 1 項 営業費用		7,010,371 千円
第 2 項 営業外費用		164,329 千円
第 3 項 予備費		10,000 千円

（ 資本的収入及び支出 ）

第 4 条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2, 9 6 7, 9 9 8 千円は過年度分損益勘定留保資金 2, 1 7 8, 9 3 1 千円、当年度分損益勘定留保資金 3 2 8, 6 2 9 千円及び過年度分消費税資本的収支調整額 4 6 0, 4 3 8 千円で補てんするものとする。）。

		収	入
第 1 款	資 本 的 収 入		1, 6 9 0, 3 6 3 千円
第 1 項	企 業 債		1, 6 0 0, 0 0 0 千円
第 2 項	固 定 資 産 売 却 代 金		5 4 千円
第 3 項	負 担 金		9 0, 3 0 9 千円
		支	出
第 1 款	資 本 的 支 出		4, 6 5 8, 3 6 1 千円
第 1 項	建 設 改 良 費		4, 1 2 5, 2 7 9 千円
第 2 項	企 業 債 償 還 金		5 3 3, 0 8 1 千円
第 3 項	過 年 度 返 還 金		1 千円

（ 継続費 ）

第 5 条 継続費の総額及び年割額は、次のとおりと定める。

款	項	事 業 名	総 額	年 度	年 割 額
資本的支出	建設改良費	浄水場施設・設備更新事業（西部浄水場系監視制御装置更新工事）	1, 0 9 9, 3 4 0 千円	8	0 千円
				9	9 4, 8 2 0 千円
				1 0	1, 0 0 4, 5 2 0 千円

（債務負担行為）

第 6 条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
上下水道局庁舎総合管理業務委託料	令和 9 年度から令和 11 年度まで	190,773 千円
上下水道局庁舎自家用電気工作物保安管理業務委託料	令和 9 年度から令和 13 年度まで	2,920 千円
上下水道局庁舎立体駐車場保守定期点検整備業務委託料	令和 9 年度から令和 13 年度まで	2,860 千円
上下水道局庁舎複写機（モノクロ）賃借料	令和 9 年度から令和 13 年度まで	契約により決定した額
上下水道局庁舎複写機（カラー）賃借料	令和 9 年度から令和 13 年度まで	契約により決定した額
泉町倉庫警備業務委託料	令和 9 年度から令和 13 年度まで	1,260 千円
浄水場監視業務委託料	令和 9 年度から令和 11 年度まで	496,584 千円
令和 9 年度開始前に契約事務を行う業務（委託料・賃借料）	令和 9 年度まで	契約により決定した額

（企業債）

第 7 条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限 度 額	起債の方法	利 率	償 還 の 方 法
建設改良事業	1,600,000 千円	普通貸借 又は 証券発行	5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金についてはその融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定する融資条件による。 ただし、企業財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、若しくは繰上償還又は低利に借換えすることができる。

（ 一時借入金 ）

第 8 条 一時借入金の限度額は、1, 0 0 0, 0 0 0 千円と定める。

（ 予定支出の各項の経費の金額の流用 ）

第 9 条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 営業費用、営業外費用及び特別損失の間の流用
- (2) 建設改良費、企業債償還金及び過年度返還金の間の流用

（ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費 ）

第 1 0 条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職 員 給 与 費 7 8 3, 6 3 9 千円
- (2) 交 際 費 1 5 0 千円

（ たな卸資産購入限度額 ）

第 1 1 条 たな卸資産の購入限度額は、6 6, 9 8 5 千円と定める。

令和 8 年 2 月 1 8 日提出

所沢市長 小野塚 勝 俊